

選挙区調査特別委員会

県議会議員の定数及び選挙区に関する事項を調査しました。「13回(平成17年2月22日の設置から平成18年2月20日の廃止までの委員会開催回数)」

【調査の概要】

市町村合併に伴う三重県議会議員の定数及び選挙区に関する事項を総合的に調査・検討しました。

この検討結果をもとに、一票の格差と地域間の均衡とを考慮のうえ、「三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例案」をまとめ、平成十八年第一回定例会に議員提出議案として提出しました。



議会運営委員会の活動状況

議会の運営に関することを中心に、議会関係の条例及び規則等に関する事項、議長が諮問した事項等について協議しています。

通常、定例会等の開会前と会期中に開催され、開会前には、提出予定議案、会期と日程、質問方法などを、会期中には、請願・陳情の受理結果、質疑・討論の取り扱い、採決の方法、次の日程案などを協議しています。「16回(平成17年2月から平成18年1月末までの委員会開催回数)」



三重県議会公営企業事業の民営化検討委員会が議長への中間報告を行う

当検討委員会は、公共サービスの民間開放、規制緩和や地方分権など地方公営企業を取り巻く環境の変化を踏まえ、三重県企業庁及び病院事業庁が管理運営する事業の民営化について検討するため、議長の諮問機関として民間委員四名、県議会議員三名で設立しました。

今年度は、企業庁事業のあり方について、様々な視点から調査・検討を重ね、昨年十二月九日に、「民営化手法の活用」や「中長期ビジョンの策定」等の内容の中間報告を、委員会から議長に行いました。

三重県環境保全事業団の経営健全化について知事への提言を行う

議長は、三重県環境保全事業団の巨額の債務超過の要因となっている「廃棄物処理センター」の経営健全化について、経営コンサルタントや公認会計士ら四名の専門委員を委嘱し、調査を依頼しました。

その結果、県の財政負担や市町と協働した処理コストの削減、環境保全事業団の徹底した情報公開などを内容とした調査結果の報告を受けました。

この報告を踏まえ、三重県行政が求められている事業団への関与のあり方について、議会の総意として、正・副議長が平成十八年一月十八日に、知事に対し提言を行いました。

三重県議会 県民ミーティング「議員と語ろう三重の未来！」

◆ 第二回県民ミーティングの概要

平成十八年二月十四日に、三重県議会議事堂において開催しました。

はじめに全体会で、日本政策投資銀行 漢谷浩介 参事役から「人口成熟問題の本質と対処策」と題し、三重県、日本の人口構造の現状と、出生増加、労働力確保等の対処策について、スピーチがありました。

続いて、三つのテーマの分科会に分かれ、活発な議論を行いました。

○ 出産と子育ての環境づくり分科会

「今の助成金等は老人に手厚い、義務教育までの子どもに手をかけることが必要」など、様々な意見が出されました。



○ 産業と働く場づくり分科会

「今までは男社会であった、女性の社会進出への心遣いが足りない」など、様々な意見が出されました。



○ 地域で支えあう風土づくり分科会

「子育てに関し、相談できて教えてくれる人が地域にいてほしい」など、様々な意見が出されました。



議員の辞職

旧津市選出の溝口昭三議員から、平成十八年一月十六日に議員辞職願が提出され、同日付で議長が辞職を許可しました。

なお、一月十六日現在の会派別議員数は、次のとおりになりました。

(欠員五名)

会派	議員数
新政みえ	22人
自民・無所属・公明議員団	19人
未来塾	5人

委員長の互選結果

二月二十日に開催した行政のあり方調査特別委員会で、委員長に清水一昭委員(新政みえ)を互選しました。

特別委員会の廃止

選挙区調査特別委員会は、その調査が終了したので、二月二十日に開催した本会議で廃止しました。

◎ 問い合わせ窓口

〒514-8570 津市広明町13
 三重県議会事務局課
 ☎ 059(224)2869
 ☎ 059(226)1931
 ✉ gikaig@pref.mie.jp
 三重県議会ホームページのアドレス
<http://www.pref.mie.jp/GKALS/kengi/gikai.htm>